

平成28年度
福島大学大学院
人間発達文化研究科
地域文化創造専攻
学生募集案内(再募集)

日英言語文化領域 / 地域生活文化領域 / 数理科学領域 / スポーツ・健康科学領域 / 芸術文化領域



人間発達文化研究科の目的

人間発達文化研究科は、教育を「人間発達」と「文化」の両視点からとらえ直し、それぞれの関心に依りて深化させるだけでなく、従来の枠組みを越えた専門性を構築することを目的とします。そのために、自らの学問追求の成果を実践の場に生かし、その結果から自らの学問追求の課題を省察します。

こうして、教育と、人間発達、言語、地域生活、数理、芸術、スポーツにかかわる諸学問を、現実の課題に関係づけることによって、それぞれの学問体系を再構成します。

このように、地域社会の発展に資する知の在り方を探究することを通して、教員としての専門性の向上や、今日の課題に応えることのできる実践力のある高度専門職業人の育成をめざします。



■ 教職教育専攻

学校現場で必要とされる教育方法、教育内容、教育理念の高次な統合を目指し、学校改革・授業改革に結びつけるための実践的研究を行い、高い専門性を持つ〈エキスパート教員〉の養成を目指します。

■ 学校教育領域

学校を中心とした地域における教育システムの研究、教員の専門性向上のための研究、及び人間個体と集団の発達・成長を中心とした人間発達についての総合的な研究を行います。

■ カリキュラム開発領域

文化内容の伝達や再構成についての研究を基盤として、各校種・各教科・各領域の教育内容論や指導論など、カリキュラム実践及び開発の研究を行います。

※教職教育専攻は定員に達したためH28年度入学の再募集はありません

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)

「人間発達文化研究科」は、教育を「人間の発達」と「文化」の両視点からとらえなおし、社会の急激な変化に対応できる新時代に必要な高度専門職業人(人材育成のエキスパート)の養成を企図する研究科です。それぞれの専攻で次のような学生または社会人の入学を求めています。

■ 教職教育専攻

教育に関わる学問研究をもとに、地域に立脚する学校や人間の全体的な発達の総合的な理解、各教科や領域における教育内容の研究や実践力・指導力の向上に加え、現代的な教育課題に対応できる教員、教育関係職をめざす学生または社会人。

■ 地域文化創造専攻

日英言語文化、地域生活文化、数理科学、スポーツ健康科学、芸術文化といった各領域の文化に関する基礎的な知識・能力をもち、それらをさらに専門的に発展させようとする意欲と、地域の諸課題に対応しようとする問題意識をもつ学生または社会人。

■ 学校臨床心理専攻

学校において、教員とは異なる視点・アプローチで児童生徒に接し、また、専門機関においてカウンセリングや家族療法、諸機関と連携して、自立支援を行おうとする学生または社会人、また、学校現場の学校経営や授業づくり、生活指導や学校福祉、健康教育などの課題を臨床的に解決しようとする学生または社会人。

履修基準

区分	教職教育専攻	地域文化創造専攻	学校臨床心理専攻
専攻共通科目	2	2	(基礎論 6~8)
領域共通科目	2	2	(方法論 4~6)
専攻専門科目	14	14	(実践論 6)
課題研究	4	4	(実践研究Ⅰ・Ⅱ 2)
専門演習	4	4	(課題研究Ⅰ・Ⅱ 2)
自由選択	4		8
領域間連携科目		4	
合計	30	30	30

履修年限、学位、教員免許状

- 履修年限 2年(長期履修制度適用の場合4年)
- 学位(すべて専修免許状に対応しています)
 - ・教職教育専攻.....修士(教育学)
 - ・地域文化創造専攻.....修士(地域文化)
 - ・学校臨床心理専攻.....修士(教育学)
- 取得できる専修免許状
 - ・幼稚園、小学校、特別支援学校
 - ・中学校
(国語、社会、数学、英語、家庭科、音楽、美術、保健体育)
 - ・高校
(国語、地歴、公民、数学、英語、家庭科、音楽、美術、保健体育)

■地域文化創造専攻

諸文化を構成する専門的学問分野における研究・実践力を形成するとともに、地域支援に必要なコーディネート力及び人材育成力をあわせもつ「地域支援エキスパート」の養成を目指します。

■日英言語文化領域

言語研究・文学研究を通じて人間や社会に対する深い洞察力を身につけ、文化の橋渡し役として、文化の継承・伝達・創造に寄与する能力を身につけた人材を育成します。

■地域生活文化領域

社会科学と生活科学全般をつなぎ合わせ、現代の社会の実態を把握するための研究方法を身につけ、現代社会が生み出す複合的問題の解決を目指す能力を身につけます。

■数理科学領域

数理諸科学の研究を通して、自然や社会の事象を数理的・論理的・整合的に認識するための教育・研究を行い、社会や企業などの組織で十分に応用できる人材の育成を行います。

■スポーツ・健康科学領域

現代におけるスポーツ・体育・健康の諸問題を科学的認識に基づいて解決し、スポーツ文化の発展や、人々の健康的なライフスタイル確立に貢献できる高度な職業人を育成します。

■芸術文化領域

音楽や美術表現の専門的なスキルの獲得及び表現の理論を基礎におき、表現活動を通して地域再生、活性化に結びつけることのできる人材を育成します。

■学校臨床心理専攻

臨床心理学及び学校福祉の臨床的な実践研究に基づき、様々な課題を抱える子ども・成人やその家族に対応する効果的な指導・援助・支援を行う「発達支援エキスパート」の養成を目指します。

■臨床心理領域

円滑に学校生活を送ることを目指す教育臨床と、子どもの発達に関わる発達臨床、精神障害を対象とした病院臨床、非行問題等の心理臨床などのアプローチを行います。

■学校福祉臨床領域

子どもの生活指導、教育相談、学級経営、学校保健・健康教育などの教育福祉を対象とした実践研究、及び教育実践のための授業臨床や学級指導などの実践的研究を行います。

※学校臨床心理専攻は定員に達したため
H28年度入学の再募集はありません

充実したカリキュラム 充実した研究環境

カリキュラム・ポリシー

人間発達文化研究科では、人材育成のエキスパートとなるために、3つの力の育成をめざしています。

■専門探究力

人間や地域や文化に対する問題意識を持ち、高度専門職業人にふさわしい知識と技能を修得している。

■コーディネート力

課題を解決するために必要な組織や人材を活かしながら、修得した知識や技能を学校や地域で積極的に生かそうとする態度や技能を身につけている。

■人材育成力

人間や社会の発達における文化の役割を理解し、次世代を育成する実践力を有している。

■教育課程の特色

各専攻には、それぞれの教育の目的・内容・方法等を研究する領域・分野を設け、研究科全体としては、以下のような特徴を持っています。

①人材育成を主眼としたカリキュラム構造

高度専門職業人を養成するために、「課題研究」および「専門演習」を軸とした「専門探究力」に加え、「コーディネート力」や「人材育成力」を育むための「専攻共通科目」、「領域共通科目」などの科目を配置しています。また、必要に応じて「実践研究」を修了研究に結びつけることができます。

②大学院学生相互の研究交流を重視した授業科目の配置

今日、高度専門職業人に必要とされる「省察の実践力」（自他の実践を省察することによって得られる実践力）を身につけるための機会を授業として位置づけ、学生の研究交流による「実践コミュニティ」の形成をめざし「領域共通科目（領域コミュニティ）」を各領域に配しています。

③少人数のゼミナール形式による授業

共通科目以外はすべてが少人数による授業であり、その多くは教員と学生、学生相互のディスカッションを含むものです。演習科目もほぼ半数を占め、個々の学生の興味や関心に沿った授業展開が可能です。

④複数指導教員による多面的指導

修了研究の審査だけでなく、主指導教員と副指導教員の複数指導体制で研究を進めます。両者は学生の研究テーマに即したより有効な研究方法や指導方法について話し合い、研究のまとめまでを一貫して進めていきます。

⑤現職のまま学べる多様な履修形態

学校臨床心理専攻では、現職に就いたまま学ぶことができるよう、昼夜開講制授業を導入し、また、長期履修制度による3年以上の長期履修に対応しています。

入学試験について

■ 入学試験の方法

- 一般入試：専攻ごとに学力筆記試験、面接、及び出願書類審査を行います
- 現職教員特別入試：現職の教員を対象に、提出された教育実践レポートに基づく面接および出願書類審査を行います
- 学類所属生特別入試：人間発達文化学類生を対象に、提出された学習履歴レポートに基づく面接および出願書類審査を行います

■ 募集人員

地域文化創造専攻 若干名

※教職教育専攻及び学校臨床心理専攻は定員に達したため募集はありません

■ 入学試験日程

- 出願期間：平成 28 年 2 月 22 日（月）～ 2 月 25 日（木）午後 5 時まで
 - 試験日：平成 28 年 3 月 15 日（火）
 - 合格発表：平成 28 年 3 月 20 日（日）
- 詳しくは、入試課までお問い合わせください

■ 募集説明会

- 日 時：平成 28 年 2 月 17 日（水）午後 6 時 30 分～
- 会 場：人間発達文化学類大会議室
- 申 込 み：メール：ningen@adb.fukushima-u.ac.jpまたは電話：024-548-8101で2月16日（火）までお申込みください

地域文化創造専攻教員紹介

氏 名	研究内容	氏 名	研究内容
井 實 充史	古代日本文学の研究、古典教育（古文）	相原 義弘	複素多様体上のネヴァンリンナ理論
半 沢 康	日本の方言の研究	中田 文憲	微分幾何学・ツイスター理論
中 川 祐治	日本語の文法・語彙、日本語教育	松井 明德	位相幾何学・特異空間のホモロジー特性類
澁 澤 尚	漢文学・漢字文化、古代思想・神話、漢字・漢文教育	水澤 玲子	島嶼生植物の繁殖様式の進化に関する研究
高 橋 由貴	日本近代文学、比較文学研究	持地 隆一	理科教育、化学教育
佐 藤 元樹	言語の構造と意味に関する研究	川本 和久	陸上競技、体カトレーニング
飯 嶋 良太	言語芸術、特に英語・北米のもの	白石 豊	マルチトレーニングのトレーニング方法論の研究
朝 賀 俊彦	統語と意味の対応	杉浦 弘一	競技選手のコンディショニング
高 田 英和	イギリス文学・文化研究	工藤 孝幾	運動技術の自己調整学習
川 田 潤	ユートピア思想研究	小川 宏	子どもの体力向上と身体教育
高 橋 優	ドイツ・ロマン主義の文学と思想	中村 民雄	日本人のスポーツ受容と身体技法
小 松 賢司	日本近世政治史	安田 俊広	身体活動が生体に与える影響
鍵和田 賢	近世ドイツ宗教社会史、神聖ローマ帝国国制史	鈴木裕美子	ダンスの創作過程
中 村 洋介	自然災害科学・防災教育	今尾 滋	声楽・オペラ
初 澤 敏生	地域文化構造の調査と分析	金谷 昌治	チェロ演奏技術の熟達に関わる諸問題
小 島 彰	経済教育	横島 浩	現代音楽、古典音楽理論、作品研究
牧 田 実	コミュニティとまちづくり	中畑 淳	ピアノ演奏法 演奏解釈
小野原雅夫	イマヌエル・カントの実践哲学体系に関する研究	渡邊 晃一	絵画・現代美術の制作学、芸術による地域創造の研究
千 葉 養伍	糖質と関連酵素に関する研究	新井 浩	木彫による具象表現の研究
中 村 恵子	食品の調理や食育に関する研究	片野 一	工芸作品の制作と工芸教育の研究
千 葉 桂子	衣服の機能性や衣生活文化に関する研究	加藤奈保子	西洋美術史
阿 部 成治	都市における住居と居住地のありかた		